

## 平成20年度決算

学校法人千葉学園の平成20年度決算は、監事の監査及び公認会計士の法定監査を受け、5月27日の理事会において審議の結果、別表の通り決定しました。

学園の活動状況を資金の動きで捉えた資金収支計算書で見ると、資金収支総額は134億7,890万6千円となり、前年度決算（以下「前年度」という。）に比べ9億463万8千円（7.2%）増加しています。

規模が膨らんだ主な理由は、学生生徒等納付金収入が学生数の増加により増えたほか、補助金収入や資金の積極的な運用（債券売買等）による収入増が影響しています。また、支払資金（現金預金）は、当年度の学生生徒等納付金や補助金等の資金収入に比べ、人件費や諸経費、特に資金運用（債券の購入）により、資金支出が上回りました。このため、年度末の保有高は11億5,483万円（24.3%）減少しています。

学園財政の健全性を測定する消費収支計算書では、学生生徒等納付金をはじめ、補助金、資産運用収入等が増加したことから、帰属収入全体では75億3,683万1千円となり、前年度に比べ9,633万4千円（1.3%）増加しました。

帰属収入から控除する基本金は、3億9,340万2千円です。当年度に取得した固定資産の中から教育研究を行う上で、必要な資産を将来に亘って維持するために基本金に組み入れたものです。また、帰属収入から基本金組入額を控除したものが消費収入で、消費支出に充てることのできる収入です。その消費収入は、71億4,342万9千円となり、前年度に比べ1億9,903万円（2.7%）減少しています。

他方、消費支出は人件費や教育研究経費等が減少し、前年度に比べ1億8,450万5千円（2.4%）減少し、73億4,851万4千円となりました。

この結果、当年度の消費収支差額は、消費収入と消費支出から、2億508万5千円の支出超過となり、前年度消費支出超過額を加えると、翌年度繰越消費支出超過額は34億2,911万4千円となっています。

以下は、資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表の内容です。

### 1. 資金収支計算書

資金収支計算書は、第1表の通りです。学園の1年間の教育研究活動その他の諸活動の全てを資金の動きで捉えます。すなわち、その会計年度に発生した収支の内容と、支払資金（現金預金）の収支の顛末を明らかにしたものです。

以下は、主な「資金収入」及び「資金収支」の内容です。

#### 【収入の部】

##### (1) 学生生徒等納付金収入

学生生徒等納付金収入は、61億4,464万8千円で、前年度比2億4,956万6千円（4.2%）増加しました。その理由は、平成20年度の在籍学生数が、法人全体で7,388名（5月1日現在）となり、前年度に比べ272名増加したからです。

##### (2) 手数料収入

手数料収入は、1億1,431万9千円で、前年度比801万1千円（7.5%）増加となっています。大学及び高校の入学志願者が増加したため、入学検定料収入が増えています。

##### (3) 寄付金収入

寄付金収入は、708万7千円です。千葉商科大学創立80周年事業が一段落したことから寄付金収入は減少しました。

なお、本学園の寄付金には計上していないものの、企業から受配者指定寄付金（日本私立学校振興・共済事業団預かり）として、1,000万円あります。

##### (4) 補助金収入

国や千葉県等からの補助金です。前年度比491万円（0.7%）増の7億1,636万7千円となっています。そのうち、国からの補助金は4億5,676万6千円で、補助事業の終了したのもあることから471万8千円（1.0%）減少しました。

また、千葉県等の補助金は2億5,960万1千円で、配分基準の見直しと授業料減免事業補助金の支給対象者が増えたこと等により、962万8千円（3.9%）増加しています。

##### (5) 資産運用収入

資産運用収入は、2億6,444万9千円となり、前年度比8,992万4千円（51.5%）増えています。債券の購入等の積極的な運用により、受取利息・配当金収入が増えています。

##### (6) 雑収入

雑収入は、2億5,343万5千円で、前年度比1億6,877万円（40.0%）減少しました。主に退職した教職員の大学退職金財団からの給付金が減ったためです。

### 【第1表】 資金収支計算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単位 千円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	6,147,823	6,144,648	3,175
手数料収入	103,200	114,319	△ 11,119
寄付金収入	29,840	7,087	22,753
補助金収入	703,995	716,367	△ 12,372
国庫補助金収入	444,394	456,766	△ 12,372
地方公共団体補助金収入	259,601	259,601	0
資産運用収入	275,100	264,449	10,651
資産売却収入	135,010	98,133	36,877
事業収入	24,100	30,793	△ 6,693
雑収入	245,262	253,435	△ 8,173
前受金収入	2,721,587	2,727,224	△ 5,637
その他の収入	1,302,207	1,304,056	△ 1,849
資金収入調整勘定	△ 2,924,862	△ 2,931,888	7,026
前年度繰越支払資金	4,750,283	4,750,283	
<b>収入の部合計</b>	<b>13,513,545</b>	<b>13,478,906</b>	<b>34,639</b>
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	4,366,764	4,331,674	35,090
教育研究経費支出	1,580,079	1,509,223	70,856
管理経費支出	639,961	586,616	53,345
借入金等利息支出	25,914	19,040	6,874
借入金等返済支出	310,170	310,170	0
施設関係支出	289,000	245,975	43,025
設備関係支出	118,733	83,056	35,677
資産運用支出	2,835,000	2,779,459	55,541
その他の支出	219,286	188,906	30,380
[予備費]	(6,026) 33,974		33,974
資金支出調整勘定	△ 132,499	△ 170,666	38,167
次年度繰越支払資金	3,227,163	3,595,453	△ 368,290
<b>支出の部合計</b>	<b>13,513,545</b>	<b>13,478,906</b>	<b>34,639</b>

注 予備費使用額内訳 教育研究経費支出 6,026千円

**【支出の部】**

**(7) 人件費支出**

教職員や役員の給与、退職金の支払等で、前年度比 2 億 960 万 8 千円 (4.6%) 減の 43 億 3,167 万 4 千円となっています。教職員数が減少したほか、退職金額が前年度に比べ減少したためです。

**(8) 教育研究経費支出・管理経費支出**

教育研究経費支出は、15 億 922 万 3 千円で、前年度比 1 億 1,431 万 2 千円 (7.0%) 減少、管理経費支出は 5 億 8,661 万 6 千円で、同 7,186 万 1 千円 (14.0%) の増加となりました。

教育研究経費が大幅に減少した理由は、主にコンピュタリース満了に伴う賃借料の減少によるものです。また、管理経費では、新学部の開設に向けた広告費等学生募集関係費等があげられます。

**(9) 借入金等返済支出**

借入金等返済支出は 3 億 1,017 万円で、借入金を繰上償還したことから、返済額は大幅に増加しています。

**(10) 施設関係支出**

施設関係支出は、2 億 4,597 万 5 千円です。当年度に実施した事業の主な内容は、大学関係では図書館空調更新 (第 2 期) 工事、学生会館トイレ改修工事、ピッチング・ゴルフアプローチ練習場新設工事及び喫煙所整備工事を、高校では土地の購入やロッククライミングボード設置工事等を行って施設・設備の環境整備に努めています。

**(11) 設備関係支出**

設備関係支出は、8,305 万 6 千円で、前年度比 3,617 万 7 千円 (30.3%) 減少しています。その内容は、機器備品の購入と図書を購入です。減少した主な理由は、丸の内サテライトキャンパスの設備整備事業が一段落したことがあげられます。

**(12) 資産運用支出**

資産運用支出は 27 億 7,945 万 9 千円です。有価証券購入支出として、23 億 9,859 万 3 千円、償却資産の取替更新資金として留保するため、減価償却引当特定資産への繰入れが 3 億 8,086 万 6 千円あります。

**2. 消費収支計算書**

消費収支計算書は、第 2 表の通りです。学園の教育研究活動その他の諸活動から、経営の状況を捉えます。すなわち、消費収入と消費支出の内容を明らかにし、均衡の状態を明らかにすることによって財政の健全性を測定します。

消費収支計算書の構造は、次の通りです。

- ア. 帰属収入－基本金組入額＝消費収入
- イ. 消費収入－消費支出＝消費収支差額

**【消費収入の部】**

**(1) 帰属収入**

帰属収入とは、学校法人の負債とならない収入で正味財産の増加要因となる収入をいいます。その帰属収入は、75 億 3,683 万 1 千円で、前年度に比べ 9,633 万 4 千円 (1.3%) 増加しました。増加したのは学生生徒等納付金や補助金、資産運用収入であり、その内容等については、資金収入の項で述べた通りです。

**(2) 基本金組入額**

基本金組入額は、3 億 9,340 万 2 千円です。当年度に取得した固定資産の中から教育研究を行う上で必要な資産を、将来に亘って維持するために基本金に組み入れたものです。

**(3) 消費収入 (帰属収入－基本金組入額)**

帰属収入から基本金組入額を控除したものが消費収入で、消費支出に充てることができる収入です。その消費収入は、71 億 4,342 万 9 千円となり、前年度に比べ 1 億 9,903 万円 (2.7%) の減少となっています。

**【消費支出の部】**

**(4) 消費支出**

学園が設置する学校の教育研究活動その他の諸活動に伴って消費した金額が消費支出で、いわゆる正味財産の減少要因となる支出です。具体的には、人件費、教育研究経費、管理経費、借入金等利息などの経費をいいます。その消費支出は、73 億 4,851 万 4 千円となり、前年度に比べて 1 億 8,450 万 5 千円 (2.4%) 減少しました。減少したのは、人件費及び教育研究経費であり、その理由については、資金支出の項で述べた通りです。

**(5) 消費収支差額 (消費収入－消費支出)**

消費収支の均衡状況についてみると、当年度の消費収支差額は、前述した消費収入と消費支出から、差し引き 2 億 508 万 5 千円の支出超過となりました。また、前年度繰越消費支出超過額を加えると、翌年度繰越消費支出超過額は、34 億 2,911 万 4 千円となっています。

**【第2表】 消費収支計算書**

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単位 千円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	6,147,823	6,144,648	3,175
手数料	103,200	114,319	△ 11,119
寄付金	33,340	13,322	20,018
補助金	703,995	716,367	△ 12,372
国庫補助金	444,394	456,766	△ 12,372
地方公共団体補助金	259,601	259,601	0
資産運用収入	275,100	264,449	10,651
資産売却差額	10	7	3
事業収入	24,100	30,793	△ 6,693
雑収入	245,262	252,926	△ 7,664
帰属収入合計	7,532,830	7,536,831	△ 4,001
基本金組入額合計	△ 420,351	△ 393,402	△ 26,949
<b>消費収入の部合計</b>	<b>7,112,479</b>	<b>7,143,429</b>	<b>△ 30,950</b>
消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	4,360,616	4,323,156	37,460
教育研究経費	2,383,454	2,314,602	68,852
管理経費	704,856	643,972	60,884
借入金等利息	25,914	19,040	6,874
資産処分差額	49,125	47,533	1,592
徴収不能額	211	211	0
[ 予 備 費 ]	( 18,798 )	—	1,202
	1,202		
<b>消費支出の部合計</b>	<b>7,525,378</b>	<b>7,348,514</b>	<b>176,864</b>
当年度消費支出超過額	412,899	205,085	
前年度繰越消費支出超過額	3,224,029	3,224,029	
翌年度繰越消費支出超過額	3,636,928	3,429,114	

注 予備費使用額内訳 教育研究経費 16,962千円、その他 1,836千円

### 3. 貸借対照表

貸借対照表は、第3表の通りです。学園の当年度末（平成21年3月31日）における財政状態を明らかにするため、学園が保有するすべての資産、負債、基本金及び消費収支差額を一覧表示したものです。

資産総額は429億5,413万2千円で、前年度比1億3,591万5千円（0.3%）減少しました。一方、負債総額も58億288万5千円で、同3億2,423万2千円（5.3%）減少しました。その結果、負債総額の減少が資産総額の減少を上回ったため、自己資金（基本金+消費収支差額）は371億5,124万7千円となり、同1億8,831万7千円（0.5%）増加しました。

自己資金構成比率でも前年度に比べ0.7ポイント上がり、86.5%となっています。以下は、「資産」、「負債」及び「基本金」等の内容です。

#### 【資産の部】

##### (1) 固定資産

有形固定資産は、前年度比2.1%減の249億3,849万6千円です。図書館空調更新（第2期）工事、ピッチング・ゴルフアプローチ練習場新設工事及び喫煙所整備工事、高校隣地購入、図書の購入などにより取得価額は増加したものの、当年度の減価償却により、帳簿価額で比較すると減少しています。

その他の固定資産は同14.3%増の141億6,466万3千円となっています。その理由は、債券の購入に伴う投資有価証券と減価償却引当特定資産が増加したものです。固定資産全体では、12億4,471万2千円（3.3%）増の391億315万9千円となっています。

##### (2) 流動資産

流動資産は、前年度比13億8,062万7千円（26.4%）減の38億5,097万3千円です。流動資産のほとんどは現金預金（支払資金）で、減少した理由は、前述の通り、資金を債券にシフトしたためです。

#### 【負債の部】

##### (3) 固定負債

固定負債は、前年度比2億9,091万8千円（9.5%）減の27億8,626万1千円です。大幅に減少した理由は、借入金を繰上償還しているからです。

##### (4) 流動負債

流動負債は、前年度比3,331万4千円（1.1%）減の30億1,662万4千円です。流動負債には、短期借入金、未払金、前受金及び預り金があります。

#### 【基本金及び消費収支差額の部】

##### (5) 基本金

学園が保有する資産のうち、必要な資産は教育水準の維持向上と学園の円滑な運営を図る観点から常に維持しなければならず、その維持の状況を金額で捉えたものが基本金です。

第1号基本金（土地、建物等教育用固定資産取得額相当額）は、資産の取得等により、前年度比4億4,740万2千円（1.2%）増の371億7,219万8千円となっています。

第2号基本金（固定資産取得のための金銭その他資産相当額）は、当年度の事業に充てるため一部を取り崩したことから、同5,400万円（8.2%）減の6億400万円となっています。

第3号基本金（基金として保持し運用する金銭その他資産相当額）及び第4号基本金（運転資金の所要額相当額）は、それぞれ前年度と同額の23億6,316万3千円、4億4,100万円で、基本金全体では、3億9,340万2千円（1.0%）増の405億8,036万1千円となっています。

##### (6) 消費収支差額

消費収支差額は、各年度の消費収入から消費支出を差し引いた額の累計額で、学園経営の現時点での健全性を示しています。その消費収支差額は、34億2,911万4千円の支出超過となっており、前年度に比べ2億508万5千円（6.4%）増加しました。

#### 【第3表】 貸借対照表

平成21年3月31日

(単位 千円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
<b>固定資産</b>	<b>39,103,159</b>	<b>37,858,447</b>	<b>1,244,712</b>
有形固定資産	24,938,496	25,462,873	△ 524,377
土地	8,301,555	8,246,917	54,638
建物	12,063,737	12,596,552	△ 532,815
構築物	389,831	403,618	△ 13,787
教育研究用機器備品	490,439	579,191	△ 88,752
図書	3,672,949	3,612,313	60,636
その他の有形固定資産	19,985	24,282	△ 4,297
その他の固定資産	14,164,663	12,395,574	1,769,089
投資有価証券	1,615,000	15,000	1,600,000
土地拡張引当特定預金	354,000	408,000	△ 54,000
学園拡充資金引当特定資産	250,000	250,000	0
第3号基本金引当資産	2,363,163	2,363,163	0
退職給与引当特定資産	2,065,368	2,074,038	△ 8,670
減価償却引当特定資産	7,432,115	7,196,000	236,115
その他の固定資産	85,017	89,373	△ 4,356
<b>流動資産</b>	<b>3,850,973</b>	<b>5,231,600</b>	<b>△ 1,380,627</b>
現金預金	3,595,453	4,750,283	△ 1,154,830
その他の流動資産	255,520	481,317	△ 225,797
<b>資産の部合計</b>	<b>42,954,132</b>	<b>43,090,047</b>	<b>△ 135,915</b>
負債・基本金・消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
<b>固定負債</b>	<b>2,786,261</b>	<b>3,077,179</b>	<b>△ 290,918</b>
長期借入金	720,740	1,003,140	△ 282,400
退職給与引当金	2,065,521	2,074,039	△ 8,518
<b>流動負債</b>	<b>3,016,624</b>	<b>3,049,938</b>	<b>△ 33,314</b>
短期借入金	88,010	115,780	△ 27,770
前受金	2,728,194	2,707,359	20,835
その他の流動負債	200,420	226,799	△ 26,379
<b>負債の部合計</b>	<b>5,802,885</b>	<b>6,127,117</b>	<b>△ 324,232</b>
基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	37,172,198	36,724,796	447,402
第2号基本金	604,000	658,000	△ 54,000
第3号基本金	2,363,163	2,363,163	0
第4号基本金	441,000	441,000	0
<b>基本金の部合計</b>	<b>40,580,361</b>	<b>40,186,959</b>	<b>393,402</b>
消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	△ 3,429,114	△ 3,224,029	△ 205,085
<b>消費収支差額の部合計</b>	<b>△ 3,429,114</b>	<b>△ 3,224,029</b>	<b>△ 205,085</b>
負債の部・基本金の部及び消費収支差額の部合計			
科 目	本年度末	本年度末	増 減
<b>負債の部・基本金の部及び消費収支差額の部合計</b>	<b>42,954,132</b>	<b>43,090,047</b>	<b>△ 135,915</b>